

withコロナの中、みんなの知恵と協力で前に進める2学期に!

校長 加藤 隆史

猛暑がまだ残る8月から雪が降り始める12月までの季節の変化が最も大きい2学期が、いよいよ始まりました。

新型コロナウイルスへの対策に関しては、まだまだ気の抜けない日々が続きます。しかし、「できない」「無理だ」と諦めるのではなく、withコロナの中で学校の学習活動を着実に進め、一人一人の自己肯定感や自己充実感を高められる2学期になるよう、改めて気を引き締めていこうと思っています。

2学期の始業式には、子どもたちに以下のような話をさせていただきました。長文となりますが、ご一読くださり、ご家庭や地域の皆様も共有にしていいただければ幸いです。

2学期を迎えるにあたって、夏休みにあった出来事について話をします。

この夏、兵庫県の甲子園球場では全国の高校野球大会が行われました。この大会も新型コロナウイルスの第7波の影響がありました。大会前には6つの学校がPCR検査で集団感染ということになりました。私たち岐阜県の代表である県立岐阜商業も大会直前に集団感染となり、10人の選手を入れ替えて試合をすることになりました。

しかし、今年の高校野球はがんばって中止や出場辞退にはしませんでした。選手の回復が間に合うよう日程を変更したり、メンバー以外の選手の出場を認めたりするなど、これまでになかった新しいルールを考え、それをみんなで「いいよ!」と分かり合う中で、最後まで大会をやりきりました。

ある学校の選手たちは、コロナに苦しんだ相手と戦って勝ったときにガッツポーズや嬉しさを声に出すのをやめよう決めました。また、コロナになって試合に出られないチームメイトから「しっかり自分のプレーを目いっぱいやってこいと言葉をかけられ、テレビの前の仲間の分まで戦いました。」涙を流し、インタビューに答えていた選手もいました。

高校野球だけが特別なわけではありません。今、私たちの周りにもコロナの影響があります。私も、自分の子どもが感染をしたり、濃厚接触者になったりしました。きっと、みなさん自身、そしてみなさんの多くが、新型コロナウイルスが身近にやってきたことと思います。

そして、それは2学期が始まってもしばらく続いていきます。夏の高校野球が大会をやりきったように、土岐小学校も、運動会や生活科・社会科見学などたくさんの行事がある2学期を新型コロナウイルスと向き合いながら乗り切っていきたいです。そして、先ほど紹介した選手のように、コロナの影響がある中で、仲間とともに、どうしたらいいかをみなさんも考えてほしいと思います。

まずは、これまで言い続けてきた「対策をきちんとする」中で、「活動をできるだけ行う」という二刀流を進めていきたいです。そして、みなさんも、そして先生たちも「やりきった!」といえる2学期にできたらいいと強く願っています。

学校教育に関するアンケートのご協力ありがとうございました!

これまで年間1回であった保護者アンケートを今年度は2回行うこととしました。急遽のお願いにも関わらず多くの皆様(回収率95%)にご協力をいただいたことを感謝しております。この結果やご意見やご要望を真摯に受け止め、全職員で共有しました。そして、夏休み以降、改善できる点については、早急に改善策を講じていきます。個別のご意見については、それぞれに回答をさせていただいております。

保護者アンケートや児童へのアンケート結果や学校の回答については改めて学校報でお知らせします。